

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		公民館事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6150	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	社会教育法第22条					
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市民を対象として、市内12公民館において、市民が求める生涯学習の場を提供することで、気軽に継続する学習活動に取り組めるよう図る。・クラフト教室、パソコン教室、スキー教室、料理教室、そば打ち教室、絵手紙教室、バスハイキング、歴史探訪、陶芸教室、ハーブ教室等								
目的 ※何のために		市民の生涯学習の場を提供するため								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		市内12公民館において学級講座を開催する。								
成果 ※何を求めるか		市民が気軽に学習活動及び文化活動に取り組めるよう図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[深谷公民館]	28,714
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[藤沢公民館]	108,439
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[幡羅公民館]	279,063
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[明戸公民館]	43,328
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[大寄公民館]	24,100
本事業の 主な業務		・学級講座の開催				・				
		・家庭教育講座の開催				・				
		・				・				
		・				・				
		・				・				
		・				・				

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		学級講座の開催家庭教育講座の開催	学級講座の開催家庭教育講座の開催	学級講座の開催家庭教育講座の開催	学級講座の開催家庭教育講座の開催	学級講座の開催家庭教育講座の開催	学級講座の開催家庭教育講座の開催
事業費	予算(現額)	2,098,000	4,322,000	3,835,000	3,005,000	2,299,000	4,326,000
	決算額	1,517,942	3,579,525	3,167,888	823,701	1,284,042	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	64,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,517,942	3,579,525	3,167,888	823,701	1,220,042	4,326,000
人件費	従事職員数(人)	0.09	0.09	0.09	0.06	0.02	0.05
	人件費相当試算※	700,110	700,380	707,490	488,160	155,239	406,567
総事業費試算		2,218,052	4,279,905	3,875,378	1,311,861	1,439,281	4,732,567

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	学級講座開催延べ回数		目標値	回	300	300	300	300	300	300
			実績値		270	239	247	34	155	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の実績をもとに、現状維持を目標とする。 / 事務事業執行状況表							
	実績値の算出式									
成果指標 1	学級講座参加者数		目標値	人	14400	14400	14400	14400	14400	14400
			実績値		13220	12858	11692	595	2392	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各公民館平均年間 1, 200人とし、14, 400人を目標値として設定する。 / 事務事業執行状況表							
	実績値の算出式									
成果指標 2	公民館利用者数		目標値	千人	530	580	590	600	600	0
			実績値		576.94	584.99	595.24	280.57	333.56	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	コロナ禍における学級講座の開催は、公民館運営審議会や関係団体に諮り、開催の有無等を決定していることが多い。令和3年度は、可能な範囲で実施し、目標値(300回)の過半数である155回の講座を開催することができ、令和2年度の数値(34回)を大幅に上回ることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和3年度の学級講座参加者数は、目標値(14,400人)に対し、2,392人であり、大幅に目標値を下回っているが、コロナ禍において感染症予防を徹底し講座を開催することができ、令和2年度の数値(595人)を大幅に上回ることができた。また、公民館利用者数については、緊急事態宣言や市民の感染拡大状況を考慮し、開館時間の短縮や市外利用者の制限を行ったことで、目標値には達していない。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	学級講座参加者の募集については、参加者の多くが高齢者であるため、現時点では電子申請の必要性は少ない。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公民館事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6150
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		コロナ禍により、各指標は目標値を到達していないが、今後も感染症予防対策を徹底し、市民ニーズに合致した学級講座を開催できるよう努める。 また、公民館利用については、令和4年4月から利用の範囲を拡大し、公民館が主催する学級講座等に加え、民間による専門知識・技術を活かした講座を開催していくことで、市民の生涯学習・活動の機会の拡充を図る。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和4年度から、現在公民館を利用している社会教育団体、市民活動団体等に加え、営利団体等が行う生涯学習に資する活動等の利用を認め、市民の生涯学習・活動機会の拡充を図る。 なお、利用予約については、市民団体の利用を最優先とするよう制度設計する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・公民館利用の拡大によるさらなる利用促進等

8. 評価指標グラフ

